

問

町の舵取りはどうか

答

町民と協働し責任も分担

加茂紀代子 議員

問 町長は大きな計画と抱負を持ち、町の行政を進めております。しかも、右下がりの経済状況の中で希望する行政を実施するのは、苦勞が多いと思います。老いた人・幼い人、男性も女性も、弱者・健者、3万9千500余名全ての町民代表として大きな船の舵を握っております。町長は全ての町民・町をどのように導こうとされておりますか。

また、町長は政治家であるとともに、柴田町民の代表であります。一人ひとりの意見を聞き取り上げ、その総意までどこまで行政に生かせ、民主主義まで持っていけるのか、お伺いいたします。

答 滝口町長 美しい情報交流都市の創造・魅力ある町づくり・住民参加による三町合併の推進等を進めてきました。

今後、住民参加を制度化した協働の町づくりを推進する考えです。

町民と行政がパートナーとして一緒に汗を流して町づくりを行い、子どもからお年寄りまで住んで良かった、住んでみたい町にしたい。

町民一人ひとりの意見、それが総意かの確認は今後考えていく。

町民が柴田町に関心を持つ情報を積極的に提供し、情報の共有に努める。



何を見ているのかな？ 槻木児童館

問

児童館・学童保育の見直しを

答

学童保育の時間延長を前向きに検討

白内恵美子 議員

問 柴田の子育て環境の充実を願い、次の質問・提案をします。

(1) 現在の児童館の施設・設備、職員数、保育内容をどう捉えているのか。

(2) 5時閉館は役所の都合。親の就労形態を考え、学童保育の時間延長を。

(3) 運営費が不十分。需用費の増額を。

(4) 学童保育の要である職員が、広く

深く学ぶよう全国規模の研修の機会を。

(5) 幼児保育を行っている児童館を見直し、幼稚園・保育所の一元化を。

(6) 利用者の声・職員の声が生かされる羽山船迫児童館運営検討委員会を。

(7) 現在に捉われず将来の児童館・学童保育のあるべき姿の検討を。

答 滝口町長 (1) 各施設とも老朽化及び手狭であり、緊急性の高い所から順次整備をしたい。職員数は基準を充足しているが、適正配置に心がける。

(2) 15年度からの延長を検討する。

(3) 十分とは言えず総意工夫の現状。保育に支障の出ないよう配慮したい。

(4) 専門的力を身に付けることは重要。多くの機会を設け参加させたい。

(5) 柴田町に合ったより良い保育を目指し、将来に亘り研究・検討する。

(6) アンケートや意見交換会を行い、利用者の意見を十分反映させたい。

(7) 児童館は地域の子どもの活動拠点。新たな概念を検討する研究会等も必要。



葛岡公園から見た槻木の街並